

# 第 21 回 日本死の臨床研究会中部支部総会 ご案内

陽春の候、会員の皆さまには、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度の日本死の臨床研究会中部支部総会を下記のように開催いたします。今回は三重県津市での開催となります。午前中は、全国大会で好評の「事例検討」になったセッションで、事例をもとに提示者・演者・コメンテーター・フロアがやり取りを行います。病気や死に対する子供の理解などを学びながら、がん患者が子どもと向き合うとき医療者ができるサポートを考えます。午後は「スピリチュアルケアセミナー」です。「もう死にたい」「生きていてもしかたがない」といった「生きている意味を問う患者の苦しみ」と何か、どう対応したらよいかにつながるヒントを学ぶ参加型ワークショップです。

皆様奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

(日本死の臨床研究会 中部支部長) 三重大学医学部附属病院緩和ケアセンター 松原貴子

**日時：2016年6月26日(日) 10:30~16:30**

**会場：三重大学医学部新医学棟(看護学科校舎)**

三重県津市江戸橋2丁目174番地

- ・全体会／3階 第1講義室
- ・ワークショップ／3階 第2講義室
- ・役員会／3階 グループ学習室

**参加費：会員1000円、 非会員1500円**

(\*年会費1000円については、できるだけ郵便振込にご協力いただきたいと思います、総会の機会に受付で支払うことは可能です。

なお、非会員の方が入会する場合は入会金1000円・年会費1000円が必要です。)

<午前の部> 10:30~12:15 事例検討

『 自分のがんを子供にどう話す? ~ケア側がサポートできること~ 』

12:30~13:00 支部役員会

<午後の部> 13:00~13:30 支部総会

13:30~16:30 ワークショップ 『 スピリチュアルケアセミナー 』

\*ワークショップのみ事前登録が必要です(定員40名)

## ！ ワークショップ申込 ！

裏面の申込書でご応募下さいますようお願いいたします。

6/10 〆切 で事務局宛にメールまたは郵送下さいますようお願い致します。

(日本死の臨床研究会中部支部 事務局)

〒501-2105 岐阜県山県市高富1187-3 岐北厚生病院

※ 6月26日(日)午後13:30~15:30 総会の隣接会場にて、三重大学医学部附属病院 小児がん拠点病院事業として 特別シンポジウム「限りあるときを生きる子どもへの緩和ケア」が開催されます(事前参加登録不要)。このシンポジウムは、本会(死の臨床研究会中部支部会)とは独立したものですが、本会参加者のかたには追加参加費なく参加いただけることになりました。「小児がんの子どもへの緩和ケア」をテーマとしていますので、ご興味がある方はご参加ください。

日本死の臨床研究会  
中部支部事務局宛  
FAX 0581-22-3512

## ワークショップ「スピリチュアルケアセミナー」 参加申込書

お名前		
ご所属		
連絡先	〒  TEL (        )        —	
いづれかに○をつけてください	会員	非会員

### 【申し込み方法】

FAX または、e-mail で申し込みください。

☆FAX：上記を記入していただき、上記宛先まで、FAX してください。

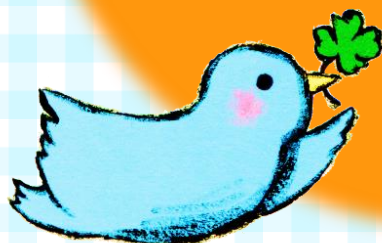
☆e-mail：件名を「中部支部会総会」とし、① お名前、②ご所属 ③ご連絡先  
④会員・非会員を記載し下記にご送信下さい、

送信先：e-mail [gihoku@gfkosei.or.jp](mailto:gihoku@gfkosei.or.jp)（中部支部事務局 山藤）

\*申込締切 6月10日（金）

ワークショップに関しては、定員になり次第締め切らせていただきます。

限りあるときを生きる  
子どもを支える  
緩和ケア



小児がん医療・ケアに携わる方・関心がある方（職種不問）の参加をお待ちしています！

参加費 無料

6.26

13:30

～

15:30



三重大学  
看護学科棟 3 階  
第 1 講義室

司会 三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

松原 貴子

挨拶 三重大学大学院医学系研究科 小児科学 教授

平山 雅浩

### シンポジウム

座長 三重大学医学部附属病院 小児トータルケアセンター

岩本彰太郎

三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター がん看護専門看護師

福永 稚子

### 「子どもたちと家族のための緩和ケア」

国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和ケア科

永山 淳

### 「こどもらしく生きる力を支えるチーム医療」

兵庫県立大学看護学部 小児看護専門看護師

河俣あゆみ

### 「こどもたちへの CLS の支援と関わり」

三重大学医学部附属病院 チャイルドライフスペシャリスト

大森絵里子

### 意見交換・総合討論

### お問い合わせ

三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2 丁目 174 番地

☎ 059-231-5764 / FAX 059-231-5348

✉ mie-kanwa@clin.medic.mie-u.ac.jp

## 第21回 日本死の臨床研究会中部支部総会

### プログラム

会 場：三重大学医学部新医学棟（看護学科校舎）  
事例検討／3階 第1講義室 ワークショップ／3階 第2講義室

開 場

10:00～

事例検討

10:30～12:15

座 長：村木 明美（済生会松阪総合病院 がん看護専門看護師）

事例検討「自分のがんを子供にどう話す？～ケア側がサポートできること～」

事例提示：木村由紀子（松阪市民病院 緩和ケア病棟看護師）

「子どもと向き合う」ことをどうするかは、がん進行期・終末期の患者にとって重大な課題である。ケアの側もどのようにサポートするのがよいのか複雑な問題をはらんでいる。この場面を扱うことによって、患者ケアとなる家族ケア／介入のための家族アセスメント、病気や死に対する子供の理解／子供への説明の方法、「子どもと向き合う」ことを考えるセッションである。

テーマに沿った検討は「患者の意思決定支援」にもなり「死別を迎える患者へのケア」「遺族へのケア」にもなると考えている。事例提供者として緩和ケア病棟勤務の看護師、コメンテーターとして臨床心理士に登壇してもらい、事例提示者・コメンテーター・フロアがやり取りを行い、セッションを通してそれぞれの経験に引き当てて学びを深める機会としたい。

ショートレクチャー「家族ケアとしての子どもへの対応」

講 師：中西 健二（三重大学医学部附属病院 医療福祉センター臨床心理士）

心理士の立場から、家族ケアの対象として「子ども」の発達段階・特性など、対応のための知っておくべき知識・対応についてレクチャーを行う。

昼 食・休 憩

12:15～13:30

ワークショップ

13:30～16:30

【このワークショップのみ別途事前申込制です。別紙参加申込書にてお申込下さい】

「スピリチュアルケアセミナー」

講 師：的場 康徳（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

NPO 法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会理事）

がん患者や認知症高齢者への援助の臨床現場で日々奮闘されている医療職・福祉職・介護職の方を対象に、スピリチュアルペインとそのケアに関する基礎概念を学べるセミナーである。

「何のために生きてきたのかわからない」「人に迷惑ばかりかけて生きていても仕方がない」「早く迎えがこないか」といった患者、あるいは利用者さんの声に困惑してしまった経験はありませんか？ このセミナーは、そんな難題に悩んでいる援助職にとって、明日からの実践の示唆を得られる3時間のワークショップとしたい。

## 死の臨床研究会中部支部会と並列開催

三重大学医学部附属病院 小児がん拠点病院事業 特別シンポジウム

### プログラム

三重大学看護学科棟 3階 第1 講義室

**特別シンポジウム「限りあるときを生きる子どもを支える緩和ケア」13:30～15:30**

座 長：岩本彰太郎（三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター）  
福永 稚子（三重大学医学部附属病院緩和ケアセンターがん看護専門看護師）

シンポジスト：

永山 淳（国家公務員共済組合連合会浜の町病院 緩和ケア科）

「（子どもたちと家族のための緩和ケア）」

河俣あゆみ（兵庫県立大学看護学部 小児看護専門看護師）

「こどもらしく生きる力を支えるチーム医療」

大森絵里子（三重大学医学部附属病院 チャイルドライフスペシャリスト）

「こどもたちへのCLSの支援と関わり」

「小児緩和ケア」の概説を基調講演として共有し、そして、小児医療のケア・関わりの現場の看護師・CLSからそれぞれ専門職としての取り組みを紹介してもらおう。

小児がん医療の現場の医療者なら「互いの取組」を、一般的な緩和ケア・ホスピスの現場にいる医療者なら「小児がんの現場でどんな風に取り組んでいるのか」を知る機会にしたい。

登壇者は、小児血液内科医を経て緩和ケアチームの専従として活躍中の医師、小児トータルケアセンターで意思決定支援・連携支援・在宅支援の経験が豊富な小児専門看護師、小児科病棟で活躍中のチャイルドライフスペシャリストの3名で、それぞれの分野で関わり・取り組んでいることについて発表を行い、最後に意見交換・総合討論を行う。

#### ご案内

この特別シンポジウムは、死の臨床研究会中部支部とは独立したもので、三重大学医学部附属病院 小児がん拠点病院事業として開催されます（参加費・会費・事前参加登録不要）。開催者のご厚意で、死の臨床研究会中部支部会（参加費あり）に参加の方には、追加参加費なく参加いただけることになりました。

総会当日午後からは、中部支部会主催であるワークショップ「スピリチュアルケアセミナー（事前参加登録制）」に参加を希望されない方は、こちらの特別シンポジウムに参加が可能です。「小児がんの子どもへの緩和ケア」にご興味がある方はご参加ください。

## 三重大学医学部附属病院小児がん拠点病院事業 特別シンポジウム 会場案内

会 場：三重大学医学部 新医学棟（看護学科校舎）3階  
〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174  
TEL 059-232-1111（代）

会場の校舎（新医学棟）は、国道23号線より医学部敷地内へ入った後、旧病院本館（解体工事中）ならびに新病院よりもさらに奥まった所にあります。詳細は、別途地図を参考にしてください。



### 【公共交通機関の場合】

江戸橋駅（近鉄名古屋線急行停車） 下車（徒歩15分）

津駅（近鉄名古屋線特急・急行、JR紀勢本線特急「南紀」・快速「みえ」停車）

・タクシー（約8分）

・バス（約10分） 三重交通バス 大学病院バス停下車後 徒歩5分

三重交通バス 大学病院前バス停下車後 徒歩8分

### 【自家用車の場合】

伊勢自動車道津インター・芸濃インター利用

国道23号線「大学病院前」交差点より大学病院敷地内へお入りください。

※医学部附属病院及び医学部敷地内は全面禁煙となっておりますのでよろしく  
お願い致します。